

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	演劇表現演習Ⅰ	
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース 俳優・タレントコース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位		開講時間	水曜 5時限目～		授業形態	演習
教科書/教材	参考資料に関しては必要な時に随時配布。木刀。						
担当教員情報							
担当教員	船津基・河口博昭・内堀克利・吉川亜州香			実務経験の有無・職種	有・殺陣師 俳優・女優		
学習目的							
この科目を受講する学生は、日本の歴史・文化を考察し、殺陣の技術向上を図る。特殊な身体運用を他者とのコミュニケーション能力を高めつつ身につける。社会に出てからの現場において、怪我、事故などに対する注意力を養い、他者に対する思いやりを学ぶ。演技表現が演者一人の技量だけでは成立しないことを学ぶ事を目的とする。							
到達目標							
以下の点を習得する事を目標とする。 ①立ち廻りにおける所作と現代演技における所作との違いを理解し、様々な現場で応用する事ができる。 ②殺陣を通して、現場を共にする者への気遣い、思いやりを心掛けて作品作りに参加することができる。 ③立ち廻りの技術を活かした身体運用をあらゆるジャンルに応用し、実践の場で動くことができる。							
教育方法等							
授業概要	全体で行う基本練習とグループを作り細かい点を講師、生徒共に確認していく基本練習、立ち廻り練習を使い分けて進めていく。また、映像を視聴しながら殺陣の歴史や立ち廻り技術の幅広さを理解していく。 立ち姿、所作など立ち廻りに必要な振る舞いを体に入れるところからはじまり、次に基本の形を体得しながらそれらを応用した立ち廻りを作っていく。後半に進むにつれて立ち廻りの割合を増やしていく。授業外での復習が大前提です。						
注意点	スポーツウェア着用を基本としているが、和装で受けたいという者は考慮する。裸足又は足袋を着用。木剣（木刀）は必ず持参すること。怪我、事故を防止するため実技中、解説中の私語は厳しく対応します。理由の無い遅刻、欠席は認めません。途中退席はやむを得ない場合のみ担当教員に許可をとってから退席する。 授業時間の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することは出来ない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	30%	前期末に基本の形と立ち廻りの到達点を確認する為に実施する。				
	成果発表表 （口頭・実技）	60%	授業時間内での到達点を評価する。				
	平常点	10%	実技中の積極性と集中力を評価する。				
授業計画（1回～15回） 1回（ 4 ）時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	実演。殺陣とは何か。所作。			殺陣の歴史を理解する。所作を体得する。			
2回	所作、構え、素振り、基本1～3形			木剣に慣れる。			
3回	所作、構え、素振り、基本1～6形			木剣を振る感覚を実感する。			
4回	基本1～10形			基本10形の流れを理解する。			
5回	基本形＋千鳥打ち込み			打ち込みと払われ方を習得する。			
6回	基本形＋千鳥突き			突きの形と払われ方を習得する。			
7回	基本形＋千鳥切り抜け＋袈裟斬り			切り抜けと袈裟斬りの形を習得する。			
8回	基本形＋組み手（1）			相手と呼吸を合わせる。			
9回	基本形＋組み手（2）			腰を安定させる。			
10回	基本形＋組み手（3）			正確な間合いを習得する。			
11回	基本形＋組み手（4）＋立ち廻り（1）			芯と絡みの役割を理解する。			
12回	基本形＋組み手（5）＋立ち廻り（1）			立ち廻り中の演技を習得する。			
13回	基本形＋立ち廻り（1）			静から動の動きを習得する。			
14回	基本形＋立ち廻り（2）			斬られ方を工夫し、実践する。			
15回	基本形＋立ち廻り（2）			連続の手を習得する。			